

区分		履修科目名	1年		2年		合計		実務経験担当教員 (修学支援)		
			単位	時間	単位	時間	単位	時間			
必修科目	ビューティ基礎	講義	人体の構造及び機能	1	30			1	30		
			皮膚科学	1	30			1	30		
			化粧品化学			1	30	1	30		
			色彩	1	30			1	30		
			ブライダル概論	1	30			1	30		
		メイクアップ基礎(理論)	1	30			1	30			
		アロマセラピー基礎	2	60			2	60			
		ネイル基礎	4	120			4	120			
		メイクアップ基礎(実習)	2	60			2	60	○	福本	
		ヘアアレンジ基礎	1	30			1	30			
	着付け			2	60	2	60				
メイクセラピー基礎	1	30			1	30	○	福本			
エステ基礎	3	90			3	90					
キャリア基礎力	講義	ビジネスと仕事の実践			1	30	1	30			
		サービス接遇	1	30			1	30			
必須科目計			19	570	4	120	23	690			
選択必修科目	メイク分野	講義 実習	メイクアップⅠ(理論)	1	30			1	30	○	福本
			メイクアップⅠ(実習)	2	60			2	60	○	福本
			メイクアップⅡ			4	120	4	120		
			イメージメイク	2	60			2	60		
			ブライダルメイク	2	60			2	60		
			撮影メイク			2	60	2	60		
			コスメティック販売実習	2	60			2	60		
			接客マナー実習(基礎)	1	30			1	30		
			接客マナー実習(応用)			1	30	1	30		
			メイクセラピーⅠ	2	60			2	60	○	福本
			メイクセラピーⅡ			2	60	2	60	○	福本
			解剖生理学Ⅰ	2	60			2	60		
			解剖生理学Ⅱ			2	60	2	60		
			メイクアップ特論Ⅰ			4	120	4	120	○	福本
	メイクアップ特論Ⅱ			2	60	2	60				
	小計	14	420	17	510	31	930				
	ネイル分野	講義 実習	ネイルⅠ	4	120			4	120		
			ネイルⅡ	4	120			4	120		
			ネイルⅢ	2	60			2	60		
			ネイルⅣ	2	60			2	60		
			ネイルⅤ			4	120	4	120		
			ネイルⅥ			4	120	4	120		
			ネイルⅦ			2	60	2	60		
			ネイルⅧ			2	60	2	60		
			ネイル特論Ⅰ			4	120	4	120		
	ネイル特論Ⅱ			2	60	2	60				
	小計	12	360	18	540	30	900				
	エステ分野	講義 実習	解剖生理学Ⅰ	2	60			2	60		
			解剖生理学Ⅱ			2	60	2	60		
			解剖生理学Ⅲ(口述)	1				1	30		
			エステ(ボディ)	8	240			8	240		
			エステ(フェイシャル)			8	240	8	240		
			エステ特論Ⅰ			4	120	4	120		
エステ特論Ⅱ					2	60	2	60			
小計	11	300	16	480	27	780					
選択科目	トータルビューティ分野	講義 実習	ヘアアレンジ応用			1	30	1	30		
			メイクアップ応用			2	60	2	60		
			パーツケア実習Ⅰ	1	30	1	30	1	30		
			パーツケア実習Ⅱ	1	30	1	30	1	30		
	ビジネス基礎力分野	講義 実技 実習 研修	イメージメイク応用			1	30	1	30		
			サービス接遇特論	1	30			1	30		
			基本IT技術			1	30	1	30		
			キャリアデザイン	1	30			1	30		
			プレゼンテーション			1	30	1	30		
			硬筆書写	1	30			1	30		
			論理的思考力基礎	1	30			1	30		
			ビジネス英語			1	30	1	30		
			ビジネスマネジメント			1	30	1	30		
			インターンシップⅠ	1	30	1	30	1	30		
			インターンシップⅡ	1	30	1	30	1	30		
			サロン運営Ⅰ			2	60	2	60	○	荒木
サロン運営Ⅱ			2	60	2	60					
サロン運営Ⅲ			2	60	2	60					
イベントプロデュース	1	30			1	30					
企業研究	1	30			1	30					
ボランティア活動	1	30	1	30	2	60					
ソーシャルメディア活用概論			1	30	1	30					
選択科目計			7	210	20	600	27	810			
総計(必修+選択必須+選択)			メイク分野	40	1,200	41	1,230	81	2,430		
			ネイル分野	38	1,140	42	1,260	80	2,400		
			エステ分野	37	1,080	40	1,200	77	2,280		

科目名	メイクアップ基礎(実習)		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	JMA検定教科書に沿い、お客様にとって心地よいメイクの施し方を学習する。 メイクの技術の他に、道具の扱い方・身だしなみ・声かけ等も習得し、メイクアップの楽しさを学ぶ。							
授業の一般目標	JMA3級取得 スキンケアからベースメイクのテクニックの習得							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要のため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクアップ技術検定試験JMA公式テキスト 3級・2級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	1 ポイントクレンジング～ベースメイクが30分できる。 2、基本バランス合わせたリクルートメイクができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	オリエンテーション・化粧品の説明	授業のルールについて・化粧品検品・検定概要について						
第2週	セッティング・ポイントクレンジング	セッティング・ポイントクレンジング						
第3週	全体クレンジング・化粧水・プライマー	ポイントクレンジング復習・全体クレンジング、化粧水・プライマーの手技						
第4週	ベースメイク実習1	コントローラー・ファンデーションテクニック						
第5週	ベースメイク実習2	コンシーラー・フェイスパウダーテクニック						
第6週	チーク・ローライト・ハイライト	チーク・ローライト・ハイライト実習						
第7週	タイム計測・チークのバリエーション	ポイントクレンジング～ベースメイクタイム計測・チークのバリエーションについて						
第8週	タイム計測・アイシャドウ基礎	ポイントクレンジング～ベースメイクタイム計測・アイシャドウ実習						
第9週	タイム計測・リップ基礎	ポイントクレンジング～ベースメイクタイム計測・リップ実習						
第10週	JMA3級試験	JMA3級試験実施						
第11週	フルメイク実習①	宝塚メイク実習						
第12週	フルメイク実習②	リクルートメイク実習						
第13週	フルメイク実習③	トレンドメイク実習						
第14週	期末試験対策	期末試験のポイント・復習						
第15週	期末試験	期末試験実施(実技・筆記)						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 日本メイクアップ技術検定3級取得を卒業要件とする (1)授業内で小テストを行う (2)課題・レポート提出をする (4)期末試験を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎		○		10	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点～70点
授業態度			○				10	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○					欠格条件
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	メイクセラピー基礎		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義/実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学、実技の授業 テキストの他、学習プリントで検定試験の出題ポイントを得得する メイクセラピーの知識と技術を得得する							
授業の一般目標	メイクセラピー3級合格 メイクによる心理的効果を学び、メイクがQOLの向上に役立つことを理解する メイクテクニックを得得し、オーダーに伴った印象にセルフメイク(印象管理)が出来るようになる。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクセラピー検定3級対策テキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクセラピーに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクセラピーについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	セルフメイクでキャリア系・癒し系メイクができるようになる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	メイクセラピーとは	オリエンテーション メイクセラピーの目的・役割を理解する						
第2回	顔と心と化粧の関係	気分・感情・思い込みについて理解する						
第3回	カウンセリング概論	カウンセリングの意義や基本テクニックについて						
第4回	メイクアップ概論①	メイクセラピーのメイクアップにおける3大要素				小テスト		
第5回	メイクアップ概論②・スキンケア概論	色彩・コスメティックの質感・肌タイプについて						
第6回	癒し系メイク	癒し系の印象にセルフメイクをする						
第7回	キャリア系メイク	就職活動の身だしなみについて・キャリア系の印象にセルフメイクをする						
第8回	3級対策	3級対策授業						
第9回	小テスト・3級復習	小テスト・3級復習プリント				小テスト		
第10回	メイクセラピー3級試験	メイクセラピー3級試験実施						
第11回	カウンセリング実習	傾聴スキル・オーダーカウンセリング						
第12回	印象分析	色味・形による印象分析						
第13回	半顔メイク・メインカウンセリング	オーダーカウンセリングに伴った印象に半顔メイク(相モデル)・メインカウンセリング						
第14回	期末試験(実技)	オーダーに伴った印象にセルフメイク						
第15回	期末試験(筆記)	筆記試験(60分)						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 ※メイクセラピー検定3級取得を卒業要件とする 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品								評価なし 不可(E):59点以下
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	メイクアップⅠ(理論)		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学中心の授業 メイクアップ、スキンケア、化粧品、皮膚、顔分析、メイクアップの修整方法などのメイクアップ知識の習得							
授業の一般目標	(1)日本メイクアップ知識検定アドバンス取得 (2)メイクアップ、スキンケア、化粧品、皮膚、顔分析、メイクアップの修整方法などのメイクアップ知識が説明できる							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	日本メイクアップ知識検定アドバンス公式テキスト・問題集							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	オリエンテーション	授業に関するルール・検定について・復習						
第2回	顔の成り立ち①	骨格・筋肉・皮膚、皮膚の生理作用						
第3回	顔の成り立ち②	スキントイプ・季節と肌 紫外線と肌						
第4回	化粧品学	化粧品の定義						
第5回	顔バランスと印象①	顔のバランス、肌色の印象						
第6回	顔バランスと印象②	印象の分類						
第7回	メイクアップ理論Ⅰ①	メイクアップの効果 色彩とメイクアップ						
第8回	メイクアップ理論Ⅰ②	メイクアップの質感・形とイメージ・錯視効果				小テスト		
第9回	メイクアップのテクニック	ベースメイク・ポイントメイク・メイクカラーの混色						
第10回	メイクアップのイメージ理論	メイクアップの強弱とイメージのポイント				小テスト		
第11回	顔分析と修整メイク	メイクアップのバランス調整・加齢による顔の変化とメイクアップ						
第12回	メイクアップ理論Ⅱ	光源とメイクアップ 男性の肌 アイラッシュ						
第13回	模擬試験	総復習 模擬試験						
第14回	日本メイクアップ知識検定アドバンス試験	日本メイクアップ知識検定アドバンス試験実施						
第15回	期末試験	筆記試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テストを数回実施する (3)授業内で課題を提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎		◎		20	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点~70点
授業態度			○	○			5	可(D):69点~60点
発表・作品					○		5	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○					欠格条件
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	メイクアップ1(実習)		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・実技中心の授業(講師デモンストレーション・学生実習) メイクアップの基礎知識・ベーシック～応用技術・アイテムの知識・人間性・マナー・感性を土台に、能力の向上を目指す。JMA検定を学びながら、基本に忠実な本物の技術、顧客や社会のために誠実な思いを持って提供し喜びをもたらす職業としてメイクアップに携わることの尊さや誇り、美しさを志向します。							
授業の一般目標	(1)日本メイクアップ技術検定2級取得。 (2)モデルの顔分析をし、基本のバランスにフルメイクができるようになる (3)メイクアイテムを正しく理解し、用途に応じて使い分けができる							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない。本授業は積み上げの知識・技術が必要のため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	日本メイクアップ技術検定試験3級・2級公式テキスト・YICオリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	1. モデルの骨格に合わせた基本バランスにフルメイクができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回～ 第4回	オリエンテーション・復習・手技確認	授業に関するルール・JMA検定について 知識復習・手技確認						
第5回～ 第8回	顔分析・ベースメイク	顔分析・ベースメイク理論・実技						
第9回～ 第12回	スキンケア概論 ポイントメイク①	スキンケア概論・アイブロウ基礎						
第13回～ 第16回	メイクアップ基礎理論 ポイントメイク②	アイブロウ応用 アイメイク基礎						
第17回～ 第20回	ベースメイク理論 ポイントメイク③	アイブロウ・アイメイク応用、アイラインマスカラ基礎						
第21回～ 第24回	ポイントメイク理論 ポイントメイク応用	目元応用 リップ チーク応用						
第25回～ 第28回	修整メイクアップ・2級通し	2級通しタイム計測・苦手箇所練習						
第29回～ 第32回	修整メイクアップ・2級通し	2級通しタイム計測・苦手箇所練習				小テスト		
第33回～ 第36回	検定対策	2級通しタイム計測・苦手箇所練習						
第37回～ 第40回	検定模擬試験	JMA 2級の検定諸注意・実技模擬試験				小テスト		
第41回～ 第44回	JMA 2級検定試験	JMA 2級検定試験						
第45回～ 第48回	イメージメイク理論	イメージ4パターンカラーージュ作成						
第49回～ 第52回	イメージメイク 顔分析	顔分析・イメージメイク応用						
第53回～第56回	期末試験対策	顔分析をしモデルに合ったイメージにメイクをする						
第57回～ 第60回	期末試験	実技・筆記試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テストを数回実施する (3)授業内で課題を提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たない場合には単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎		◎		20	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点～70点
授業態度			○	○			5	可(D):69点～60点
発表・作品					○		5	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○					欠格条件
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	メイクセラピー I			単位数	2	科目コード		
授業形態	講義実習			対象学生	1年生	開設期	半期	
区分	選択必修			開設時期	後期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・実習・グループワークを取り入れた授業 化粧品療法の領域における援助法の一つとして、心理的な援助活動に必要な「心理学」「コミュニケーション」メイクアップに必要な「メイク理論」「色彩学」を学びメイクセラピーの概念を総合的に習得する 適宜視覚教材を利用							
授業の一般目標	メイクセラピー検定2級取得 メイクセラピーにおける心理学・メイク理論を習得し説明ができる 心理カウンセリングの手法を身に付け、傾聴しながら半顔にメイクが出来る。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクセラピー検定2級公式テキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクセラピーに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクセラピーについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	傾聴をしながらオーダーに伴った印象に半顔にメイクで表現ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容					備考	
第1週	オリエンテーション	メイクセラピー検定について メイクセラピーとは						
第2週	メイクセラピー的心理学①・求心メイク	精神分析と無意識・論理療法・求談者中心療法・メイク実習						
第3週	メイクセラピー的心理学②・遠心メイク	交流分析・防衛機制・行動療法的アプローチ・メイク実習						
第4週	化粧品心理学①・メイク実習	化粧の歴史・役割・化粧の効用・評価と心理・印象チェンジメイク						
第5週	化粧品心理学②・メイク実習	印象管理・承認欲求・知的でしっかりした仕事出来る印象メイク						
第6週	カウンセリング概論・メイク実習	カウンセリング・傾聴スキル・上品で優しく女性らしい印象メイク						
第7週	印象分析・メイクアップに必要な3要素メイク実習	パーツバランス・色彩・コスメティックの質感・明るく元気で健康的な印象メイク						
第8週	2級試験対策・メイク実習	事例に学ぶ・論述問題対策・3パターンのオーダーから苦手なオーダーの練習					小テスト	
第9週	2級試験対策	事例に学ぶ・論述問題対策・3パターンのオーダーから苦手なオーダーの練習						
第10週	2級試験対策	練習問題・出題傾向と注意点						
第11週	2級試験対策	筆記復習・苦手オーダーメイク練習						
第12週	メイクセラピー検定2級模擬試験	模擬試験(筆記・実技)						
第13週	メイクセラピー検定2級試験	メイクセラピー検定2級試験(筆記・実技)						
第14週	期末試験対策	1～14回までの復習						
第15週	期末試験(筆記・実技)	期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テストを実施する (3)授業内で課題を提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないもには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S): 100点～90点
小テスト	◎	○	◎				15	優(A): 89点～80点
宿題授業外レポート		○			○		10	良(B): 79点～70点
授業態度			○	○			5	可(D): 69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E): 59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	メイクセラピーⅡ			単位数	2	科目コード		
授業形態	講義実習			対象学生	2年生	開設期	半期	
区分	選択必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・ワーク・実習を中心とした授業 メイクセラピーテキストの他、サブテキストを参考に実技演習をしながら理解を深める。 検定試験の出題ポイントの習得の他、授業の振り返りも丁寧に行い自分で考えて伝える力も育てる。 適宜視覚教材を使い、接客時に必要な信頼関係の築き方の実例を学ぶ。							
授業の一般目標	(1)メイクセラピー検定1級取得。クライアントとどのようにしたら信頼関係を構築できるのか、心理学を応用したカウンセリング技術を得得。 (2)傾聴をしながら、クライアントのオーダーに伴った印象メイクアップができるようになる (3)授業で学んだ対人認知・印象管理などの技術を自分自身の就職活動・社会人生活にも活かせるように身につける。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクセラピー検定2級・1級テキスト・YIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクセラピーに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクセラピーについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	会話(傾聴中心)をしながらオーダーに伴った印象に半顔メイクができる。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容					備考	
第1回	オリエンテーション・感情について考えよう	オリエンテーション1級試験について・実技審査項目と採点基準・DVD視聴						
第2回	カウンセリングについて学ぶ	カウンセリングについて・自己理解と他者理解						
第3回	対話分析・メイク実習	対話分析・オーダーに伴ったメイク実習						
第4回	カウンセリング実習・メイク実習	ラポールの構築・傾聴スキルオーダーに伴ったメイク実習						
第5回	カウンセリング実習・メイク実習	要約・共感・承認・メイク実習(職業別オーダーメイク)						
第6回	カウンセリング実習・メイク実習	ペーシング・沈黙の処理 メイク実習オーダーに伴ったメイク						
第7回	カウンセリング実習・メイク実習	質問・ビジョン・フォロー メイク実習						
第8回	カウンセリング実習(伝える技術)	フィードバック・ジョハリの窓 メイク実習						
第9回	メイクセラピー実習	オーダーカウンセリング～フォローカウンセリング						
第10回	1級試験対策	論述問題・対話分析・メイク実習					小テスト	
第11回	1級試験対策	筆記・実技対策 出題傾向とポイント						
第12回	筆記・実技対策	1級試験の諸注意・ポイント						
第13回	1級模擬試験	1級模擬試験						
第14回	メイクセラピー検定1級試験	メイクセラピー検定1級試験(筆記・実技)						
第15回	期末試験	実技試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テストを実施する (3)授業内で課題を提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たない場合には単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎				10	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート							10	良(B):79点～70点
授業態度			○	○			10	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	メイクアップ特論 I			単位数	4	科目コード		
授業形態	講義実習			対象学生	2年生	開設期	半期	
区分	選択必修			開設時期	後期	教員実務経験対象	-	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	傾聴スキルを習得しクライアントのなりたいたい印象を引き出しオーダーに伴ったメイクができるようになる 今まで学んだ知識・技術を用いてメイクレッスンができるようになる。							
授業の一般目標	傾聴スキルを用いて会話をしながらメイクができるようになる。 今まで学んだ知識・技術を人に教えることができる メイク（スキンケア）講座を開講することができる							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクセラピーに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクアップについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	カウンセリングでなりたいたい印象を引き出し、オーダーに伴ったメイクができるようになる。複数人に対してメイクを教えることができる。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1週	オリエンテーション	授業の目標・メイクアップインストラクターについて						
第2週	メイク講座を行う上での留意点	セッティング・確認事項・資料の作成など						
第3週	メイク講座の組み立て方	導入・展開・まとめについて						
第4週	マンツーマンメイクレッスン	メイクセラピーオーダーカウンセリング～フォローカウンセリング						
第5週	グループメイクレッスン	タイムスケジュールとデモンストレーション						
第6週	レッスンプラン作成	施術内容・価格・タイムスケジュール						
第7週	レッスンプラン作成	ビジュアルツールの作成						
第8週	模擬メイク講座	模擬メイク講座開講						
第9週	模擬メイク講座	模擬メイク講座開講						
第10週	サロン運営の概要決定	サロン運営をする上でのタイムスケジュールの決定 準備物の確認 役割分担の決定 メニューの決定 企画書の作成						
第11週	接客応対について考える	サロンの一連の流れを考え、決定する 接客応対のシミュレーションを実施						
第12週	接客練習	サロンメニューのシミュレーション・実技練習を行う						
第13週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第14週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第15週	サロン運営振り返り・テスト・レポート	サロン運営振り返り・テスト・レポート						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○		◎		50	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎		◎		30	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点～70点
授業態度			○				10	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	サロン運営 I		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	・ 現場実習・スチューデントサロンを計画し実施する							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の現場で臨機応変に行動ができる ・ お客様に満足していただける施術内容を考えて施術ができる ・ サロン運営の企画・運営を組織の一員として積極的に参加し、目標とした課題を達成する事ができる 							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接客に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接客について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	オリエンテーション	スチューデントサロンを行う目的を理解し、他の授業との関連性を理解する サロンを運営する上での準備項目を共有認識する						
第2週	サロン運営の概要決定	サロン運営をする上でのタイムスケジュールを決定する 準備物の確認をする 役割分担を決定する メニューを決定する 企画書を作成する						
第3週	サロン運営の広告方法とは	広告方法を考える DMの内容、ブログ、HPの内容を考える						
第4週	サロン運営準備物の作成	サロンの一連の流れを考え、決定する 接客対応のシミュレーションを実施						
第5週	技術練習	サロンメニューの技術練習を行う						
第6週	技術練習	サロンメニューの技術練習を行う						
第7週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第8週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第9週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第10週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第11週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第12週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第13週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第14週	振り返り実施	サロン運営についての振り返り実施、改善点を話し合う						
第15週	期末試験	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 期末試験70%、日報10%、レポート10%、出席率10%を換算して総合評価を行う								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良(B):79点~70点
授業態度			○				10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	荒木 真衣 新宮 恵里奈			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/araki/			